

令和4年度「海外インフラ展開人材養成プログラム」 受講者募集

明日の海外事業を担う人材を育成

- ✓ 海外インフラ展開に必要な基礎知識を獲得
- ✓ 実践的な演習を通じた課題解決スキルを習得
- ✓ 俯瞰的で広い視点獲得の素地を涵養
- ✓ 業種を超えた人的ネットワークを構築



オンライン形式と対面形式の併用により
学習効率を向上、人材交流を促進



研修期間: 令和4年10月12日(水)～10月14日(金)オンライン形式
令和4年10月17日(月)～10月19日(水)対面形式 ※

※状況により、オンライン形式に変更する場合があります。

令和4年度実施プログラム

モジュール	講義名	担当企業等	講師	形態
X: ベース(行事等)				
X1	開講式、オリエンテーション等	事務局	—	L
X2	基調講演	政策研究大学院大学	森地 茂	L
X3	オンライン交流会(希望者のみ)	事務局	—	—
X4	補講・質問等(希望者のみ)	事務局	—	—
X5	成果報告会準備等	事務局	—	—
X6	修了式等(懇親会含む)	事務局	—	L
x	連絡事項等	事務局	—	—
Y: スコープ拡張講義				
Y1	視野の拡張と自己相対視	政策研究大学院大学	家田 仁	L
Y2	国際政治と海外インフラビジネス	調整中	調整中	L
Y3	比較宗教の観点から世界を見る	東京大学	藤原 聖子	L
Y4	法とは何か～歴史的観点からの国際比較～	西村あさひ法律事務所	梅林 啓	L
Y5	ユーラシアダイナミズムをどう読むか	多摩大学	寺島 実郎	L
A: 海外プロジェクト概要				
A1: 海外インフラ展開一般				
A11	国際プロジェクト論	東京大学	小澤 一雅	L
A12	インフラシステム海外展開	国土交通省	森 範行	L
A13	ODA	国際協力機構	平良 靖	L
A14	インフラプロジェクトの概要	日本工営	作中 秀行	L
A2: 案件形成、プロジェクト・サイクル				
A21	プロジェクト組成・案件形成	日本工営	深沢 信一	L
A22	プロジェクト組成・案件形成	日本工営	深沢 信一	GD
B: プロジェクト実施				
B1: ファイナンス				
B11	事業費積算、財務・経済分析	八千代エンジニアリング	堀井 俊明	L
B12	事業費積算、財務・経済分析	八千代エンジニアリング	堀井 俊明	L/E
B2: 契約				
B21	契約概論	八千代エンジニアリング	二宮 康郎	L
B3: 実行段階(マネジメント)				
B31	プロジェクトマネジメント概論	日本工営	高橋 義和	L
B32	海外プロジェクト実務概論	鹿島建設	武田 秀幸	L
B33	三者関係のケーススタディ	日本工営	ダントウアンハイ	CS
B34	契約(クレーム、EOT、Variation等)	オリエントタルコンサルタンツグローバル	星 弘美	CS
B35	危機下における組織とその運営の在り方～自衛隊を例にとって～	国際建設技術協会	丸山 真人	L
B4: リスク対応				
B41	リスク分析手法について	国際建設技術協会	丸山 真人	L
B42	リスクマネジメント概要	鹿島建設	大西 一宏	L
B43	ケーススタディ～東南アジア某国の事例～	大林組	片淵 文隆	L
B44	リスクマネジメント(ディスカッション)	鹿島建設	大西 一宏	GD
C: 事例紹介(プロジェクト講義)				
C1	海外鉄道プロジェクトと日本の経験・技術の活用	日本コンサルタンツ	秋山 芳弘	L
C2	新ウランバートル国際空港供用に向けた技術支援から見た成功例と課題	成田国際空港	山本 裕	L
C3	インド建設プロジェクトの現状～インドメトロ事業を例に～	オリエントタルコンサルタンツグローバル	阿部 玲子	L
C4	海外インフラPPP事業者のリスクマネジメント	二宮技術士事務所	二宮 孝夫	L

形態 L:講義 E:演習 GD:グループ・ディスカッション CS:ケース・スタディ

■ プログラムの目的

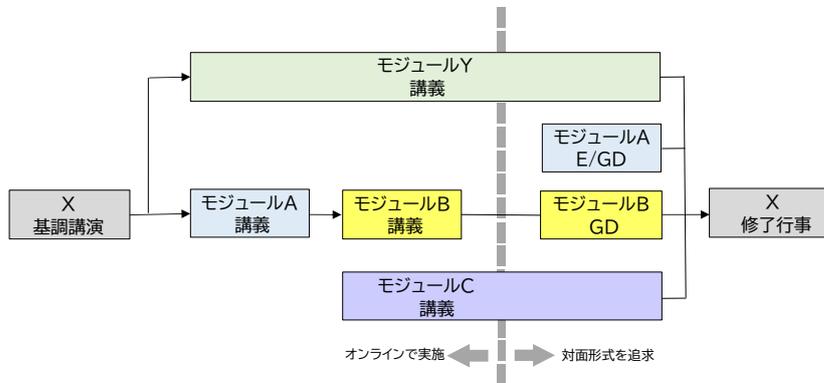
海外において、鉄道や道路等の交通事業や上下水道等のインフラプロジェクトを担う建設コンサルタント、コントラクター、事業者、官公庁等の技術系・事務系の人材を対象として、経験豊富な実務経験者や学識者等が講師となり、世界各国のプロジェクトの現場で活躍できる基礎的能力を備えた人材を育成する。

■ プログラムの構成

- 1 多岐にわたる講義を「モジュール」として整理するとともに、各モジュールに経験豊富なコーディネーターを配置し、講義内容を整合

モジュール名	概要
X「ベース」	研修の意義、位置付けの教示及びセレモニー
Y「スコープ拡張講義」	研修生の俯瞰力の大幅な増強の糸口となる講義
A「海外プロジェクト概要」	海外インフラプロジェクトの概要の理解
B「プロジェクト実施」	プロジェクトの各段階における実務の理解
C「事例紹介」	海外プロジェクトの事例紹介

- 2 知識の獲得から実践的演習によるスキルの習得までを円滑に行うために、プログラム・フローを整備



3 オンライン形式と対面形式(※)のハイブリッド構成

- ー 第1週: オンラインによる講義 → 遠隔地からの参加も可能に
- ー 第2週: 対面によるグループワーク → 人的ネットワークの構築に寄与

第1週: オンライン				第2週: 集合教育		
2022/10/12	2022/10/13	2022/10/14		2022/10/17	2022/10/18	2022/10/19
水	木	金		月	火	水
X1	x	x	0900			
A14	A13	Y2	0930	A22	B34	B43
A11	A21	B31	1000	B12		B44
		B32	1030			
A12	B11	B35	1100	B12	B34	
X2	B21	C2	1130			
Y3	Y4	C1	1200	B33	Y5	B44
Y1	C3	B42	1230		C4	
		B41	1300			X5
X3		X4	1330			X6
			1400			
			1430			
			1500			
			1530			
			1600			
			1630			
			1700			
			1730			
			1800			
			1830			
			1900			

※状況によりオンライン形式に変更する場合がございます。

■ 令和4年度 開催概要・募集要項

● 研修期間・実施形式

令和4年10月12日(水)～10月14日(金)オンライン形式

令和4年10月17日(月)～10月19日(水)対面形式 ※状況により、オンライン形式に変更する場合あり。

平日6日間(9:00～18:00 若干の変動あり)

● 受講生について

(1)対象者

政府系機関、建設コンサルタント、コントラクター、インフラ事業者等において実務経験のある職員で今後海外インフラ事業に関する業務を担当する予定の者(技術系、事務系不問) ※海外経験不問

(2)定員:50名

(3)募集期間(予定) 令和4年7月1日～8月1日

※募集要項は、政策研究大学院大学のホームページ

(<https://www.grips.ac.jp/>)にも掲載予定です。

● 受講料:200,000円(消費税込み)(宿泊・移動の手段は各自で手配をお願いします。)

● 感染症対策のため、施設への立入時の検温・消毒及び受講中のマスク着用をお願いします。

■ プログラムの研修実施体制(予定)

主 催:国立大学法人 政策研究大学院大学

監理運営:海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会

事務運営:一般社団法人 国際建設技術協会

後 援:国土交通省

国立大学法人 東京大学大学院工学系研究科

協 力:公益社団法人 土木学会

一般社団法人 計画・交通研究会

一般社団法人 海外コンサルタント協会

一般社団法人 海外建設協会

「海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会」は、本プログラムを運営、実施するために政策研究大学院大学に設置された産官学協働の委員会です。

<委員長>

政策研究大学院大学特別教授(インフラ政策コース・副ディレクター)
東京大学名誉教授 家田 仁

ほか国土交通省、建設コンサルタント、コントラクター等の幹部等により構成

■ 過去の実施状況

● 令和3年度受講者等内訳

区分等		人数
受講者	事業者	19
	コンサルタント	15
	コントラクター	10
	政府系機関	3
	その他	3
聴講者(国交省)		5
合 計		55



対面式研修の様子(令和元年度)

問合せ先

海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会事務局

(一般社団法人 国際建設技術協会情報・研修部内)丸山真人・副島亜紀・石井健介

Tel.03-5227-4105 Fax. 03-5227-4109 Mail. infra_pgm@idi.or.jp